

京都精神保健福祉士協会

きょうと通信 NO.118



2016年10月発行

事務局：医療法人 つばき医院内
〒602-0895 京都市上京区上御霊前町 410
TEL 075-411-1011
FAX 075-411-1020
e-mail office@kyo-psw.org
HP <http://www.kyo-psw.org/>

【京都精神保健福祉士協会 11 月例会のご案内】

「発達障害」基礎の基礎 ～知っておきたい支援のポイント～

日 時 2016 年 11 月 17 日（木）

18:30～20:30 （18:00 より受付開始）

場 所 ハートピア京都 第 5 会議室（4 階）

（京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 地下鉄丸太町駅下車すぐ）

講 師 定本 ゆきこ氏（京都少年鑑別所・精神科医）

いま、PSW が働く現場には、発達障害を抱える方がどんどんと増加しています。誰しもが、「どう理解すればいいのか」「どう支援すればいいのか」など、発達障害の方への対応で悩まれた経験があるのではないのでしょうか？

この例会では、そんな発達障害について「基礎の基礎」から学びなおし、より良い支援のあり方を会場の皆さんとともに考えたいと思います。

皆さまの参加をお待ちしております!!

【京都精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会京都府支部協力研修のご案内】

日 時 2016 年 12 月 10 日（土） 14:00～17:00（13:30 より受付開始）
場 所 京都市職員厚生会職員会館 かもがわ 大多目的室
テーマ 「地域包括ケアの深化・地域共生社会の実現」をめぐって
～地域の福祉サービスの改編像とは～
講 師 泉 洋一さん（佛教大学福祉教育開発センター）

今年度の京都精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会京都府支部協力研修は、現在立案されつつある福祉サービス提供の再編の動向について学びたいと思います。

昨年来「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現―新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン―」（2015 年 9 月 17 日：厚生労働省・新たな福祉サービスのシステム等のあり方検討プロジェクトチーム）、「地域の実情に合った総合的な福祉サービスの提供に向けたガイドライン（案）」（2016 年 3 月：厚生労働省）、「地域包括ケアの深化・地域共生社会の実現」（2016 年 7 月 15 日：厚生労働省）と、障害者福祉のみならず、高齢者、児童などの領域にわたり“地域”をくくりとした福祉サービス提供の改編にかかる発表が厚生労働省から行われています。この中では“我が事・丸ごと”の地域づくり、サービス専門人材の“丸ごと”化が謳われ、包括的な相談支援体制や福祉人材の養成課程の見直しが提起されており、地域の実情に合わせて既存の地域のサービスを組み合わせるイメージも提案されています。

私たちはこの流れをしっかりと見据えていく必要がありますが、これらはかなり読み込みが難しく、関心はあっても手がつけにくいというのが実情でないでしょうか。そこで協力研修では、佛教大学の泉洋一さんを講師にお招きし、先年実施の社会福祉法改定なども合わせて、こういった福祉サービス提供の背景や再編の動き、今後の展望などを読み解いていただき学びたいと思います。硬いテーマですが、時代の変化を見極めるために必要な学びとなるはずですので、ぜひご参加ください。

【2016 年度京都精神保健福祉士協会初任者研修のご案内】

（公益社団法人日本精神保健福祉士協会 生涯研修制度 基幹研修Ⅰ）

下記の日程で、2016 年度初任者研修を 2 日間にわたって開催します。

現在、研修部委員会でご案内と申込書のお届け準備をすすめているところです。

受講対象となる、2014 年度・2015 年度・2016 年度入会の皆さまへ、11 月初旬を目途に、お送りいたします。是非、お申込ください。

受講対象でない会員のみなさまには、メールにてご案内をさせていただきます。

対象年度に受講の機会を逃された方、入会后何年も経っているけれど受講してみようか

などと思われる方、日本協会への入会をお考えの方、どうぞこの機会に受講ください。
ぜひ、メールのチェックをお願いします。

開催日 2017 年 2 月 18 日（土）～2 月 19 日（日）

会 場 ハートピア京都

（京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 地下鉄丸太町駅下車すぐ）

プログラム

第一日目（基幹研修Ⅰ） 2017 年 2 月 18 日（土）10:00～17:50

「日本精神保健福祉士協会の役割と課題」

講師 上村 啓子さん（日本精神保健福祉士協会京都府支部副支部長・朱雀工房）

「精神保健福祉士の専門性Ⅰ」～価値と視点～

講師 西村 睦美さん（京都精神保健福祉士協会会長・川越病院）

「精神保健福祉士の実践論Ⅰ」～大切にしていること～

シンポジスト 巖 弥生子さん（瀬尾クリニック）

金井 浩一さん（相談支援事業所しほふぁーれ）

小野 紀代子さん（京都市北部障害者地域生活支援センター

「きらリンク」）

コーディネーター 知名 純子さん（まるいクリニック）

「演習Ⅰ」 グループワーク

第二日目（京都協会オリジナル） 2017 年 2 月 19 日（日）9:30～18:00

「記録の書き方」講師 西邑 章さん（京都市丹後保健所）

「面接技術」講師 佐藤 純さん（京都ノートルダム女子大学）

「京都精神保健福祉士協会の成り立ちと活動について」

担当 斉藤 徹 さん（京都精神保健福祉士協会事務局長・つばき医院）

「精神保健福祉士の倫理」

担当 倫理について考える委員会（京都精神保健福祉士協会）

■ 基幹研修Ⅰの受講について

○すでに初任者研修を受講された会員の方々も受講いただくことができます。

・導入されていない 2007 年度・2008 年度に受講された方

・オリジナルバージョンのみの開催であった 2010 年度に受講された方

○日本協会への入会を翌年度に予定されている方（初任者研修の対象でない会員）

*日本協会への入会を希望される方は、受講後 2017 年 12 月末までにご入会いただく
ことで、基幹研修Ⅰ修了とみなされます。

公益社団法人日本精神保健福祉士協会の生涯研修制度は、基幹研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを修了する

ことによって研修認定精神保健福祉士となり、その後 5 年毎に更新研修を受けることによって専門職としての質を担保しようとするシステムです。

京都精神保健福祉士協会では、初任者研修の内容の充実をはかるため 2009 年度より日本協会の基幹研修 I を初任者研修のプログラムに盛り込んで開催しています。

(研修部)

【リレー職場紹介】



京 P 子ちゃん

今号は…

たかぎクリニック 相談支援事業所 しぼふぁーれ
石川三絵さんです

Q1.入職したきっかけと職場のことを教えてください！

相談支援事業所しぼふぁーれは、中京区にあり、たかぎクリニックの中に平成 26 年 7 月に開設致しました。前職を退職し病氣療養中のところ、三品桂子さんより京都で ACT チームを立ち上げたいお声かけがあり、一緒に活動させてもらうことになりました。

平成 16 年、医療や福祉サービスに繋がりにくく、より社会から孤立している方への支援に重点をおき、たかぎクリニックを開院し、同じ志を持つ訪問看護ステーションと協力しながら活動を行ってきました。しぼふぁーれは、一般の相談支援事業所として、計画相談はじめ、とりわけ地域移行支援に力を入れて取り組んでいます。

当事業所の母体であるクリニックにはこれまで精神保健福祉士が 5 名在籍していましたが、11 月には私を含め 2 名しか残りません。これまで、医療制度の中で訪問支援を行ってきましたが、今年度より「在宅への訪問による支援」における診療報酬の改定があり医療機関の精神保健福祉士の訪問支援は制限されることになりました。私たちはこれまでのようなやり方で活動を継続させることは難しくなり、組織の再編成とともに、社会からの孤立感の高い方にどのように支援をしていくか模索中です。

Q2. 仕事をする中でのやりがい、悩み、嬉しいことなどを教えてください！

うれしいことは人との出会いです。支援事業所の方であったり、同じ相談員であったり、地域の方であったりいろいろですが、自分とは違って前向きだったり、夢を持って

おられたり、知らないうちに自分が偏見を持っていたこと気づかされたり。人は人間関係でも悩みますが、人間関係でも元気をもらいます。自分としては精いっぱい考えているつもりでも、自分一人の見方や考えは狭いことを日頃痛感させられます。悩んでいることや考えていることをどんどん人と話すことが必要と思うのですが、時間に追われてしまうと、怠りがちになってしまいます。後回しにしないことを心がけています。

一人では持ち上げられないものでも、協力し合うことでできてしまうことがあります。個別の支援の中でも、その方にかかわる人達がその方の希望に向き合い、皆の力が目指すところにベクトルが向くと、思わぬことができたり、予想以上のことが生み出されることがあります。そんな体験に自分は支えられています。皆がばらばらだと足並みもそろわずどこに向かって何をしているのかわからなくなります。いろんな方とつながり、心一つにできる小さなチームをどう作っていくかを常に意識しています。

Q3.最後に…仕事を通じて PSW として考えていることはどんなことですか？

相談業務の中での出会いから、社会を見る、考えることです。個人の問題、責任論ではなく、社会の考えることとして、今何ができるだろうか？と。これも一人ではどうしようもないので多くの方と現状を共有しながら考え続けたいと思います。

2016 年度第 2 回役員会議事概要報告

日時 2016 年 6 月 15 日（水）19：00～21：00

場所 アステックむろまち

出席）泉 大石 大塚 斉藤 下村 知名 西村 平山 東森 松本 宮崎

欠席）橋本

司会）大石 書記）斉藤

※詳細は下記 URL よりご確認ください。

<http://www.kyo-psw.org/member/hokoku/gijigaiyo201602th.pdf>

2016 年度第 3 回役員会議事概要報告

日時 2016 年 8 月 3 日（水）19：00～21：45

場所 アステックむろまち

出席）泉 大石 大塚 斉藤 下村 知名 西村 平山 松本 宮崎

欠席）橋本 東森

司会）知名 書記）斉藤

※詳細は下記 URL よりご確認ください。

<http://www.kyo-psw.org/member/hokoku/gijigaiyo201603th.pdf>

【事務局からのお知らせ】

《会員の動向》

[入会]

南 栄伍さん 所属) 特定非営利活動法人なんてん

京都市西部障害者地域生活支援センター 西京

八代 佳奈さん 所属) 公益社団法人京都保健会 京都協立病院 よりそい支援連携室

[退会]

左賀 秀機さん

杉山 俊夫さん

[所属変更]

田中 俊明さん 新所属) 太成学院大学

前田 えり子さん 新所属) 上京区役所 保健部

ほっとひと息コーナー

早くも次のひと息のコーナーの番が回ってきてしまいました(-;-)

今回は、アナログ時間で、ほっとひと息ついてます、というお話でした。今回は、ラジオについて話題にしてみたいと思います。ラジオと聞いて、連想するものはきっと世代によって色々かもしれません。クリーニング屋さんでいつも流れていた、とか、接骨院は演歌率高いよなー、あーあれは有線放送か、とか。受験勉強しながら聞いていたという人も多いかもしれませんね。もちろん、ラジオはあま



り身近やないなーという方もおられると思います。音楽の情報源だったり、ラジオならではの芸人さんの裏話が楽しみだったり。三谷幸喜の映画「ラヂオの時間」みたいにラジオドラマを楽しみされておられた方も、きっとおられると思います。多感な若かりし頃に私は関東で暮らしていたので、FENという米軍放送をよく聞いていました。DJはもちろん英語でしゃべっていて、何を言っているか分からない中でも、カッコいい音楽が流れたら、曲名やアーティスト名を聞き取ろうと懸命になっていたりもしました。自分の気分にあった曲が流れたら嬉しいし、流行りの曲もわかりやすいし、

初めて聞く曲に感動したり、ラジオもなかなか良いものです。最近は、日本全国だけ

ではなく、全世界のラジオ局を聞けるアプリがありますね。ジャンルからも選べる、すごい時代です。頭が疲れて、日本語を聞きたくなくなった時（笑、外国語のラジオ局で気分を変えてみます。最近のマイブームは、スペインのラジオ曲です。ラテン風のイントネーションで、明るい気分になります。ほっとひと息を通りすぎて、熱くなりすぎないように要注意です(^ ^) (内田雅也)

【編集後記】

今号は、研修のお知らせがたくさんありました。研修の企画準備してくださる委員様、ありがとうございます。ぜひ、生涯学習に活かしたいと思います。(内田雅也)

小学生の子どもの運動会を見に行ったら、子どもたちのダンスの曲はきやりーぱみゅぱみゅとかジャニーズ WEST とか。時代は変わったなあと実感しました。(中田亮太)